

# 高西小だより

H26, 2, 28(金) 校長:古屋 NO16

学校教育目標  
夢を切り拓く  
心豊かで  
たくましい子ども

## 観測史上最大の積雪！140cm超え！

14日から15日にかけての大雪は、120年前の1894年（明治27年）の観測開始以来最高の積雪量となり、甲府で114cm、ここ北杜市では、140cmを超える積雪量となったのではないのでしょうか。これまた想定外となってしまいました。「山梨は陸の孤島、わが家も出るに出不れぬの孤島」といった感をどのご家庭でも持ったことと思いますが、とにかく市道、県道まで出る雪かきの労力は、とてつもなく大変でした。お疲れ様でした。



豪雪地帯のようです。

## 通学路の確保ありがとうございました！

各地区では、雪が小降りになった16日以降、保護者やご家族の皆様をはじめ、地域の方々と力を合わせて通学路や歩道の雪かきをして頂きまして本当にありがとうございました。手に負えない所が多く、重機をお持ちの方々のご支援を頂いて、やっと出られたという方も多かったかと思えます。また、12日や24日の授業開始時刻が遅れた朝の登校時には、たくさんの保護者やご家族の方々に見守って頂きまして誠にありがとうございました。



## 1週間にもおよぶ臨時休校への対応も本当にありがとうございました！

山梨県が自衛隊の派遣要請をする程の積雪量のため、1日や2日の休校では、通学路だけではなく車道さえも通れる状況ではありませんでした。**1列にきちんと並んで登校！** 国道141号線は、比較的早かったのですが、県道や市道は大変な状況でした。北杜市教育委員会では、19日にその後の休校を決めたところですが、保護者の皆様には、度々の連絡網への対応を頂きまして本当にありがとうございました。また、各ご家庭での見守りや子どもたちへの対応にご配慮を頂きまして重ねて感謝致します。

## あと16日(6年生は14日)学習のまとめに頑張ります！

各学年の各教科で学ぶ時数は、年間35週で計算されています。実際には、年間40週余りありますので、各学年とも余剰時数というものがあり、時数に余裕があります。しかし、高学年になると、学校行事や児童会行事への取り組み等で、低学年に比べその余剰時数があまりありません。しかも、卒業に関わる指導でさらに厳しくなります。特に5・6年生には、一生に一度あるかないかの今回の大雪の状況ですので、より一層の自覚を持って学習のまとめと習得に頑張ってもらいたいと思います。

お知らせの通り、学習時数確保のため、これからの学校や学年の行事の短縮、業前活動の学習時間への活用、放課後の補習等を行って、未履修の無いよう取り組んでいきますのでご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## 初体験！ 4年生が篆刻(てんこく)教室を行いました！

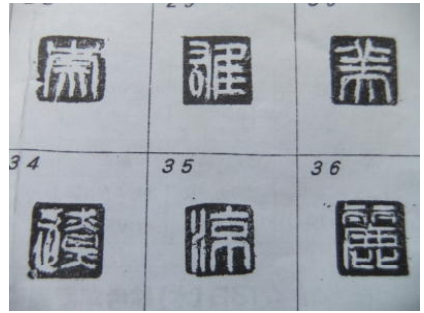
6日、市川三郷町甲州手彫印章文化を引き継ぐ3名の職人さんに来ていただきました。山梨の伝統文化を学ぶと共に、自分だけの「マイ・ハンコ」を作るとあって一心不乱に彫っていました。



丁寧に声かけとご指導！



もう夢中です！



宝物になりました！

# 保護者による学校評価は大変厳しい結果となりました。

No.	評 価 内 容
1	学校では、教育方針をわかりやすく伝えている。
2	学校では、学ぶ意欲を持った子どもを育てようとしている。
3	学校では、思い遣りやさしさを持った子どもを育てようとしている。
4	学校では、健やかな体を持った子どもを育てようとしている。
5	学校は、子どもを理解して、子どものよさを伸ばそうと努めている。
6	学校では、教科指導において基礎・基本の徹底が図られるよう指導している。
7	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。
8	子どもは、学校が楽しいと思っている。
9	子どもは、学校で友だちと仲よく楽しく過ごしている。
10	運動会やむらやま祭などの学校行事や児童会行事は適切で、子どもも楽しみにしている。
11	子どもは、将来の夢や目標を持って学校生活を送っている。
12	子どもは、学校での様子をよく話す。
13	学校では、災害の訓練、不審者侵入防止など、安全教育に取り組んでいる。
14	学校では、子どもが自らが、手洗い、歯みがきなどの健康管理ができるよう取り組んでいる。
15	学校は、子どもの悩みを聞いたり相談にのったりしている。
16	学校では、子どもたちが安心して学べるよう、安全で規律ある雰囲気のある学校づくりに努めている。
17	学校では、学級だより、学校だよりなどの各種のおたよりや懇談会、ホームページ等で子どもの様子を伝えている。
18	学校は、日々の連絡・電話・連絡帳・家庭訪問等の連絡を密にし、保護者との信頼関係を図っている。
19	学校では、子どもが進んであいさつできるように指導している。
20	学校は、保護者や地域の人々と交流する機会（授業参観等も含めて）を多く設けて、開かれた学校づくりに努めている。
21	学校では、子どもの学習習慣の形成のために家庭学習の習慣、早寝早起き朝ご飯、読書の習慣を図っている。

## 全ての項目で昨年度を下回る！

【H25年度 保護者評価結果】

今年度も保護者の皆様による学校評価を行っていただきましたが、評価結果は大変厳しいものとなりました。保護者の方からは、「学校は何を見て、何を評価しているか。」というご意見もあり、私の学校経営の力不足を大変痛感しているところです。

学校における評価は、「P・D・C・A」サイクルで行うことになっています。「P・D・C・A」とは、「計画(plan)→実行(do)→評価(check)→改善(act)」という4段階の活動を繰り返し行うことで、継続的にプロセスを改善していく手法ですが、先日の職員会議では、この結果を全職員が共有し、職員一丸となって更なる具体的方策をもって改善を図ることを確認したところです。特に、項目5の「学校は、子どもを理解して、子どものよさを伸ばそうと努めている」と項目15の「学校は、子どもの悩みを聞いたり相談にのったりしている」の評価が8割を切っていることが大きな「課題」と捉えています。

「課題解決」のために、西小の教職員は頑張っています。それには、保護者の皆様のポデティブなご支援が不可欠です。よろしくお願い致します。自由記述意見の1つをご紹介します。

「時代の変化と共に、未来に向かって一人一人の子どもたちが希望を持って、心豊かにたくましく自立できるように、本当に必要な学力・人間形成体験の場を、学校・家庭・地域で連携と役割を持ち、共有していくことが大切であると感じています。グローバル化、IT社会が進み、知識の詰め込みや暗記中心教育から、情報の選択、活用、そして発想力、表現力、企画力等の力を子どもの時から体験する必要を感じています。」

